

令和3年1月6日

発酵醸造研究所（仮称）の開設準備状況

農学群食農学類では、令和3年4月の発酵醸造研究所（仮称）開設に向けて組織と研究環境の整備を進めています。この度、令和3年1月1日付で2名の特任教員（特任教授と特任助教）を採用しましたので、実験室や機器・設備等の研究環境整備の準備状況とともにお知らせします。

令和2年度国立大学法人運営費交付金において、発酵醸造研究所（仮称）の設置に係る人件費が措置され、食農学類では令和3年4月1日の新研究所開設に向けて準備を進めています。

そしてこの度、昨年夏から人事選考を進めておりました新研究所専任教員3人のうち、2人が令和3年1月1日付けで着任しました。（残り1人は3月1日着任予定です。）また、昨年末には、食農学類研究棟および管理棟の中に新研究所の研究室・実験室を整備し、現在、主要な研究機器類の配備と稼働準備を進めています。

発酵醸造研究所（仮称）の研究統括部門（仮称）を担当する特任教授に着任した松岡 信（まつおか まこと）氏は、作物の品種改良の基礎となる遺伝学・育種学が専門で、イネのゲノム情報（DNAの配列情報）と保有する貴重なリソース（多数のイネ品種）を駆使した最先端の研究を展開しています。新研究所では、発酵醸造（酒、米麹、味噌・醤油など）の重要素材作物であるイネやダイズなどを研究対象にして、福島での栽培と発酵醸造に好適な新品種の開発研究など、地域の課題解決型研究プロジェクトを統括する職務を担当します。

特任助教に着任した吉田英樹（よしだ ひでき）氏は、植物ホルモンやその受容体など、植物の成長調節に関与する分子と遺伝子の機能をバイオインフォマティクス（生命科学と情報科学や統計学などが融合した新領域）の手法を取り入れて研究しています。新研究所では、発酵素材作物や麹菌、酵母などの研究で得られる大容量データを情報科学や統計学を駆使して解析する職務を主に担当します。

（お問い合わせ先）

食農学類教授 松田 幹

食農学類支援室

電話：024-548-8212

メール：nogaku-j@adb.fukushima-u.ac.jp